

入札監理小委員会における審議結果報告

農林水産省行政情報システムの運用管理業務

農林水産省行政情報システムの運用管理業務については、公共サービス改革基本方針（別表）において、平成 25 年 4 月から 28 年 3 月までの 3 年間を契約期間として、民間競争入札を実施することとされている。

当該民間競争入札実施要項（案）を入札監理小委員会において審議したので、その結果（主な論点と対応）を下記のとおり報告する。

1. 新規参入、競争性の確保について

【論点】

（１）入札参加資格について

- ア 競争参加資格は「Ａ」等級だけでなく「Ｂ」等級も含めるべきである。
- イ 「過去５年以内に 1,000 人以上の組織で利用される LAN システム、インターネットシステム、グループウェア（ノーツ）及びネットワークの運用業務を受託した実績を有していること」については見直しをするべきである。

（２）従来の実施状況に関する情報開示について

- ア 「従来の実施に要した経費」で、毎年度金額が増えている理由を記載するべきである。
- イ 「運用支援業務における業務内容別作業時間数の実績一覧」で平成 22 年度と 23 年度と比較すると 23 年度は 22 年度の約 2 割減となっているので理由を記載するべきである。

【対応】

（１）入札参加資格について

- ア 「Ｂ」等級を追加した。
- イ 項目を削除し、総合評価で「類似の業務実績」の項目を追加し、加点点項目とし、技術点の見直しを行った。

（２）従来の実施状況に関する情報開示について

- ア 金額が増えている理由を記載した。
- イ 時間が減っている理由を記載した。

2. パブリックコメント（意見招請を含む）について

パブリックコメントでは、６者から 46 件のコメントが寄せられた。

【意見・要望】

- ・ 監視業務について、「監視機構が停止することが無いよう、24 時間 365 日の有人監視を行うか又は監視機器の二重化等の冗長化対策を講じること。」を追加するべきである。

【対応】

- ・ 現行監視業務で実施をしていることから、調達仕様書に明記した。